

# 令和5年度事業計画

## 1 基本方針

人口減少、少子高齢化が進展し、令和4年版高齢社会白書によると、令和3年10月1日現在、65歳以上人口は、3,621万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）も28.9%となりました。萩広域シルバー人材センター管内では令和4年12月末時点で萩市の高齢化率が44.6%、阿武町では50.9%と全国よりはるかに上回る速度で高齢化が進んでいます。

新型コロナウイルスの感染の流行は、落ち着いてきているものの当面感染が続くと考えられ、シルバー人材センター事業にも会員数や契約金額の減少など大きな影響が出ることから引き続きコロナ禍の状況を注視する必要があります。

シルバー人材センターを取り巻く環境には大変厳しいものがありますが、シルバー事業は地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、地域社会の活性化など重要な役割を担っており、地域の特色や実情を踏まえて積極的な取り組みを強化していかなければなりません。

全国シルバー人材センター事業協会が平成30年に策定した「第2次会員100万人達成計画」については、会員数が下げ止まらない状況にあることから、当面、コロナ前の水準の会員数に回復させることを目標として取り組むこととされました。当センターにおいても会員拡大を核に据えて、女性会員の拡大、企業退職（予定）者層への働きかけの強化、退会抑制、新しい生活様式に対応した就業機会の開拓などを進めるなど、会員拡大に努め、事業推進を図ります。

安全就業については、会員の高年齢化や全国的に重篤事故が発生している状況を踏まえ、安全就業の徹底に向けた取組を強化するとともに、新型コロナウイルス防止対策を徹底し、職員及び会員の健康の確保に努めます。

## 2 事業計画

### (1) 会員の拡大

コロナ禍という想定外の事態により会員数は減少傾向にはありますが、今後も地域ニーズに応じていくためには、会員の拡大が最重要課題であり、健康で働く意欲のある高齢者の入会促進並びに会員の退会防止を進め、センターと会員とが一丸となって会員拡大、特に全国に比べ会員比率が低い女性会員の拡大に取り組んでいきます。

センターのホームページや萩市・阿武町の広報に広告掲載し地域住民への周知を行うとともに、商業施設や各地域で開催されるふるさとまつり等のイベントでの普及啓発活動を実施するほか、会員の口コミ活動などによる「会員1人1会員獲得運動」の取組みを推進し、更なる会員の拡大に努めます。

### (2) 就業機会の開拓・拡大

シルバー事業の発展を図るため、会員の就業ニーズに応じた多様な就業機会が得られるよう、公共団体、民間事業所、一般家庭に働きかけるほか、各種イベント等でチラシを配布するなど、情報提供を積極的に行い、就業機会の開拓・拡大に努めていきます。

### (3) 安全就業の推進

安全な就業の確保は、健康で働く意欲のある高齢者が、生きがいをもって地域社会に貢献していくためには欠くことができない基本的な事項です。

会員の高齢化、全国的な重篤事故の発生状況を踏まえ、安全就業の徹底に向けた取組を強化するとともに、新型コロナウイルス感染拡大の防止や健康確保等について適切な対応を図っていきます。

### (4) 適正就業の推進

「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に沿った事業運営の徹底を図るとともに、センターの「適正就業に関する運用基準」に基づき、会員の就業機会の

公平・適正化を進め、不適正な就業の根絶に努めていきます。

#### **(5) 研修会・講習会の開催**

就業に必要な知識・技能等の向上を図るために必要な講習会・研修会の開催のほか、会員が自己啓発のため又はセンターからの要請により就業に関する講習会、研修会等を受講する場合には受講料の一部を助成するなど、会員の資質向上に努めます。

#### **(6) 労働者派遣事業の推進**

山口県シルバー人材センター連合会及び派遣先事業所と連携して労働者派遣事業の適正な事業運営を推進し、就業機会の拡大及び適正就業に努め、会員への就業機会の確保・提供を行います。

#### **(7) 健全な事業運営の推進**

令和5年10月から施行される消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）について、センターの事業運営に及ぼす影響が大きいことから、料金や契約方式の見直しについての検討を行い、安定的な事業運営を確保できるように努めます。

萩事務所移転改築事業は、関係機関と連携し将来的な経費負担に配慮しながら、シルバー事業の拠点となる建物の整備を進めていきます。